

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 保育内容応用指導法 ナンバリング：2310	教員の免許状／保育士資格 取得のための必修科目	単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：小澤和恵、瀬戸奏 担当形態：クラス分け、複数
科目／系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目／保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等 ／教科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 1. オペレッタに取り組み、保育内容5領域を総合的に捉えた指導法を身につけることができる。 2. 台詞、歌、動きの練習と衣装や大道具、小道具制作をとおり、想像力、創造力、表現力をつけることができる。 3. 協力してひとつの作品を作り上げる過程の中で、協調性・社会性を高めながら、問題解決能力や課題遂行能力を身につけることができる。			
<b>授業の概要</b> 保育内容5領域に対応した横断的、総合的指導法を学習する授業としてオペレッタに取り組む。台詞、歌、それに伴う動き、衣装や大道具、小道具制作、様々な体験の中から、想像力、創造力、表現力、協調性が養われ、幼児教育者としての資質を高めていく。			
<b>授業計画</b> 第1回：オリエンテーション (授業の進め方、この授業で何を学ぶか、演目の決定) 第2回：台本読み合わせ、作品の理解、配役と役割分担 第3回：歌、台詞の練習（役ごとに練習） 第4回：歌、台詞の練習（場面ごとに練習） 第5回：歌、台詞の練習（全体練習） 第6回：歌、台詞の練習後、意見交換 第7回：歌、台詞に動きをつける練習（役ごとに練習） 第8回：歌、台詞に動きをつける練習（場面ごとに練習） 第9回：歌、台詞に動きをつける練習（全体練習） 第10回：歌、台詞に動きをつける練習後、意見交換 第11回：小道具、大道具を使用する練習（場面ごとに練習） 第12回：小道具、大道具を使用する練習（全体練習） 第13回：衣装をつけ、小道具、大道具を使用する練習 (撮影・演出方法の工夫と改善) 第14回：リハーサル（全体練習） 第15回：表現発表会での上演 定期試験：振り返りレポート		<b>授業時間外の学習</b> (各回指示した内容を1時間程度)  演目に関する資料収集 時代背景を調べる 原作を読む  個々の役割に応じて 歌、台詞、動きの自主練習 衣装、小道具、大道具制作  ステージスタッフとの打ち合わせ	
<b>授業の方法</b> ：実技、演習。履修者全員で話し合いながら作り上げていく。毎回提出する「取り組み表」に赤でコメントを書いてフィードバックする。			
<b>テキスト</b> 決定演目の台本			
<b>参考書・参考資料等</b> 演目の原作や演目に関する資料 学生自身も、表現力を高めるための関係資料を収集し情報交換を行う。 『幼稚園教育要領』（最新版）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版） 『保育所保育指針』（最新版）			
<b>学生に対する評価</b> 「取り組み表」と「振り返りレポート（ルーブリック評価含む）」（50%） 授業参画度と発表（表現力と協調性という観点から）（50%）を判断して評価する。			
<b>履修上の注意</b> 発表に向けて、意欲的に取り組むこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	小澤：元中学校音楽科教諭
<b>実務経験を活かした教育内容</b> 小澤：授業実践の経験を活かし、企画・運営の方法と具体的な練習方法を取り入れていく。			